

## 入院看護要約

ID:01403706

Page: 1

患者基本情報		記載看護師	米重 千波	病棟	東3階病棟
氏名	姓 高田 晴子 名 様	住所	〒652-0801 兵庫県 神戸市 兵庫区 中道通 3-2-27		
生年月日	昭和 5年 6月 24日生 (95才) 女	TEL	078-335-5331		
入院期間	令和 8年 2月 3日(入院) ~ 令和 8年 3月 13日(退院)(軽快) 在院日数: 39日				
受持ちNs	米重 千波	主治医	堀之内 豊	診療科	整形外科
看護師長	林田 京子	身長	142.9 cm	体重	47.4 Kg
キーパーソン	氏名 兼子 (かねこ) 康子	TEL①		TEL②	080-3137-4186
感染情報					
禁忌情報					
アレルギー					
血液型	O型 Rh+	告知	告知している		
病名	腰部脊柱管狭窄症				
介護保険	保険申請中				
既往歴	発症時期不明 高血圧症 発症時期不明 心不全 発症時期不明 慢性腎不全 発症時期不明 原発性骨粗鬆症 発症時期不明 陳旧性脊椎多発圧迫骨折 発症時期不明 脊柱側湾症 発症時期不明 腰部脊柱管狭窄症				
退院サマリー					
項目名称	サマリー内容				
家族情報*	連絡先:①氏名(兼子(かねこ) 康子) 続柄(姪) TEL(080-3137-4186) 連絡先:②氏名(東槇(ひがしまき) 武子) 続柄(妹) TEL(078-681-8994) 家族構成:独居				
保険等*	医療保険:後期高齢 介護度:要支援2				
診断名*	第3腰椎椎体骨折				
入院までの経過*	主訴:両下大腿痛、腰部痛 現病歴:2026年1月27日ごろより、両大腿痛、腰部痛の増強あり歩行困難。座っている時は痛みは少ないが動いたら痛みあり。精査希望で当院紹介受診となる。				
入院中の経過*	1.治療経過:地域包括ケア病棟(2026/2/3~2026/3/13) 2/5腰部MRI行い第3腰椎圧迫骨折診断あり。2/16コルセット完成。リハビリ開始するも元々のL3/4脊柱管狭窄症による左下肢痛あり離床図れてないかった。2/20下肢痛に対して左L4根ブロック注射施行。3/6左L3根ブロック注射施行。内服ではコロナールで疼痛コントロールし自制内で経過。現在は毎食車椅子乗車して食事摂取し、日中は車椅子介助にてトイレで排泄出来ている。リハビリでは歩行器歩行で10m程歩行出来るまでADL回復している。 元々独居で生活していたが、本人・ご家族の希望で今後は自宅での生活は困難となり、施設入所を希望し貴施設への退院の運びとなる。 2.看護経過 入院直後せん妄あり。コルセット完成まで安静の指示守れず帰宅願望訴えることあり。認知機能低下もありナースコール押すよう説明しても押さず自己で端坐位になっていることがあるためセンサーマット設置し転倒予防に努めた。せん妄に関しては眠前にクエチアピン服用し対応。現在せん妄脱し自己で起き上がることもないためセンサーマットは使用せず、必要時ナースコール押し依頼することも出来ている。				
病状説明*	2/5 姪御様に病状説明済み				
内服*	内服:あり 管理方法:一回配薬(看護師)				
退院処方*	令和 8年 3月 13日 整形外科 投薬				

退院サマリー	
項目名称	サマリー内容
	(退院) ツム猪苓湯【40】 2.5g/包 3包 1包2.5g 分3 毎食前 14日分 令和 8年 3月 13日 整形外科 投薬 (退院) カナル錠300 6錠 分3 毎食後 14日分 令和 8年 3月 13日 整形外科 投薬 (退院) リンゼス錠0.25mg (食前) * 2錠 分1 朝食前 14日分 令和 8年 3月 13日 整形外科 投薬 (退院) アルファカルシトールカプセル0.5μg「フソ」(ワンアルファ) 1cap 分1 朝食後 14日分 令和 8年 3月 13日 整形外科 投薬 (退院) メチコハール錠500μg 3錠 リマプロスタアルファテクス錠5μg (オハルモン) 3錠 エペランカプセル100mg 3cap 分3 毎食後 14日分 令和 8年 3月 13日 整形外科 投薬 (退院) エセチミブ錠10mg「DSEP」(セチア) 1錠 ビソプロロール錠0.625mg(メインテート・低) 1錠 分1 朝食後 14日分 令和 8年 3月 13日 整形外科 投薬 (退院) クリンジエOD錠5mg 2錠 分2 朝夕食後 14日分 令和 8年 3月 13日 整形外科 投薬 (退院) 薬局へ:錠剤一包化
ADL(移動・移乗)	活動能力:坐位保持可能 行動範囲:病室内 移動手段:車いす(介助)
ADL(食事)	食種:常食 食事摂取動作:セッティングすれば自立 食欲:あり 義歯:あり(上)
ADL(排泄)	方法:おむつ 尿意:あり 尿回数:4回/日 便回数:1回/(1)日 最終排便日: 3 / 11
ADL(睡眠)	質:普通
ADL(清潔)	方法:特浴 週1回 (コルセット外して坐位でシャワー可) 清拭 週1回 陰部洗浄 毎日 動作:全介助 更衣:全介助 洗面・歯磨き:全介助 最終清潔: 3 / 13
認知症	あり:IIb BPSD:なし
装具/歩行補助具	ダーメンコルセット (3月末~4月頃まで継続)
その他	最終バイタルサイン:T:36.8℃ P:77回/分 BP:114/70 mmHg SpO2:98%

# リハビリテーション情報提供書

紹介先機関 グラダ御影山手  
 担当療法士様

2026年3月10日  
 医療法人 川崎病院  
 TEL 078-511-3131  
 FAX 078-511-3138

担当理学療法士: 山下 佳美  
 担当作業療法士: 永松 麻千子

いつもお世話になっております。下記の患者様を紹介させていただきます。

患者氏名:	高田 晴子	性別	女	年齢	95 歳	基準日:	2026/2/5
算定病名:	第3腰椎椎体骨折、腰部脊柱管狭窄症	算定区分	運動器リハ I			介護保険:要介護	1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5
						要支援	1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 未申請 <input checked="" type="checkbox"/> 申請中

## 現病歴およびリハビリテーション経過

2026.1/27 腰痛増加し歩行困難  
 2/3 当院整形外科紹介受診しそのまま入院  
 2/5 腰椎MRIにてL3椎体骨折の診断される  
 2/20 左L4根神経ブロック施行される  
 3/6 左L3根神経ブロック施行される

## 日常生活活動(動作) (実行状況)

項目		開始時→現在		使用用具及び 介助内容等	項目		開始時→現在		使用用具及び 介助内容等	
		FIM					FIM			
運動	セルフ ケア	食事	7	→	7	認知 社会認識	理解	7	→	7
		整容	1	→	2		表出	7	→	7
		清拭・入浴	1	→	1		社会的交流	6	→	6
		更衣(上半身)	1	→	1		問題解決	3	→	3
		更衣(下半身)	1	→	1		記憶	3	→	3
		トイレ	1	→	2		小計 (FIM 5-35)	26	→	26
	排泄	排尿コントロール	1	→	6	合計 (FIM 18-126)	46	→	63	
		排便コントロール	1	→	6	特記事項				
	移乗	ベッド、椅子、車椅子	2	→	4					
		トイレ	1	→	4					
浴槽・シャワー		1	→	1						
移動	歩行		→							
	(杖・装具:)	1	→	1						
	車椅子		→							
	階段	1	→	1						
小計 (FIM 13-91)		20	→	37						

## 基本情報

コミュニケーション: 良好 自分の事は自分で決めたいと強い意志あり  
 認知機能: 日常的な会話は問題ないが、短期記憶低下あり。病状理解は困難  
 ROM: 大きな制限なし  
 MMT: 下肢右4、左3レベル  
 疼痛: 腰痛はほとんど訴えなし 左股関節外側～大腿外側に強く訴えあり  
 感覚: 特に問題なし  
 基本動作: 起き上がり、坐位 自立、立ち上がり 軽介助、立位 物的介助で見守り、移乗 臀部誘導介助  
 歩行: 疼痛強くなければ、平行棒内見守り～臀部軽介助。歩行器歩行20m程度見守り～軽介助  
 ADL: トイレ動作 移乗見守り～軽介助、下衣操作要介助

## その他情報・特記事項

元々脊柱管狭窄症で疼痛あったそうですが、自宅独居で生活されていたようです。  
 今回の椎体骨折で疼痛増強あり、骨折の疼痛よりも脊柱管狭窄症の疼痛が主訴になっています。  
 入院当初は疼痛強くなかなか離床出来ませんでした。ブロック注射施行後、トイレ誘導等が可能になってきました。  
 しかし本人の自覚症状的には疼痛著変なく、ブロックの効果も感じていないようです。  
 自宅に帰ってやりたい事がたくさんあると離床意欲はありますが、疼痛でなかなかADLupには繋がっていません。  
 動作を見ていると疼痛の訴えと相違がある場面もあり、認知機能の低下も関係しているかなと考えています。  
 引き続き、離床を促して頂けると幸いです。

以上、簡単ですがご報告いたします。今後もADL・QOLの向上に向け、貴院でのご高診のほどよろしく願いいたします。  
 ご不明な点がございましたら、お手数ですが上記までご連絡ください。